

## 地盤

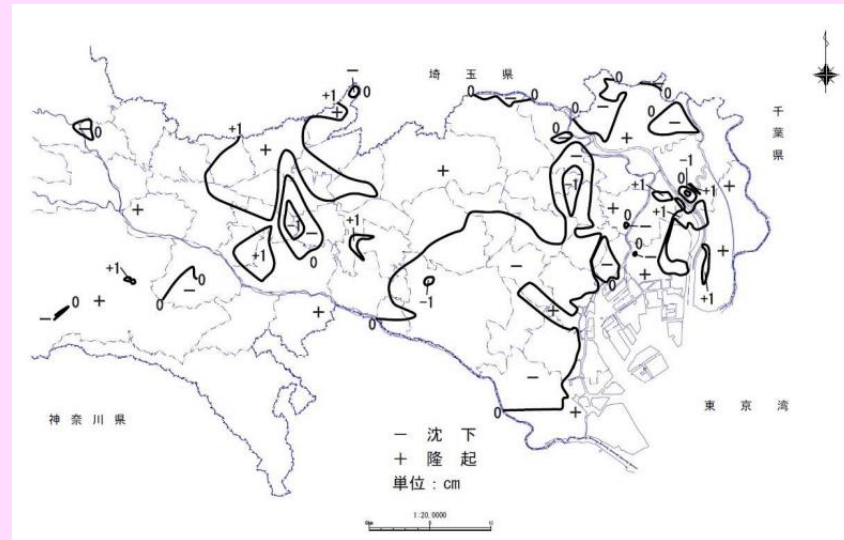
全体として安定した状況。直近5年間の地盤変動量で、2 cm以上沈下した地点はなかった。

## 地下水位

全体として上昇傾向が継続しており、特に多摩東部で地下水位等高線が東へ移動している。低地の水位上昇量は減少傾向。

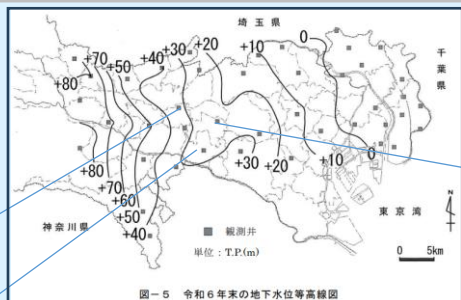
## 揚水量

令和6年の都内揚水量は273千m<sup>3</sup>/日で、直近5年間で52千m<sup>3</sup>/日減少した。うち50千m<sup>3</sup>/日が上水道用揚水の減少。昭和46年揚水量の19%となった。



直近5年間の地盤変動量図（令和2年～令和6年）

令和6年末の  
地下水位等高線図

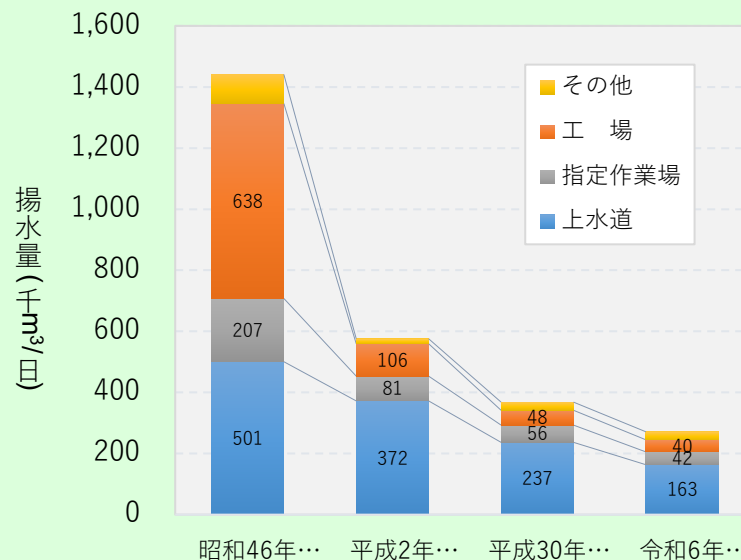
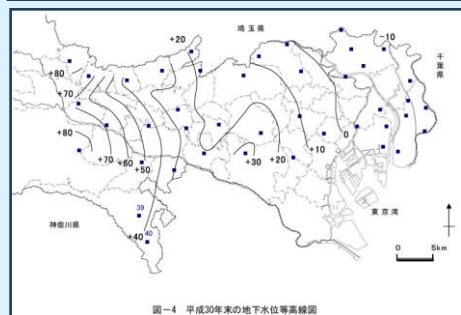


三鷹

小金井

調布

(比較)  
平成30年末の  
地下水位等高線図



昭和46年… 平成2年… 平成30年… 令和6年…

都内揚水量の推移

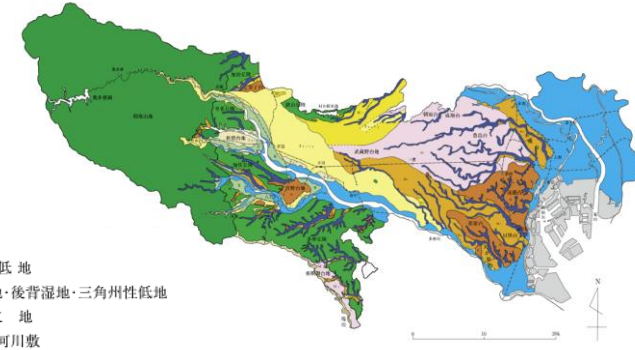
# 観測井における地盤と地下水位の地域別現況（1）低地

## 地下水位

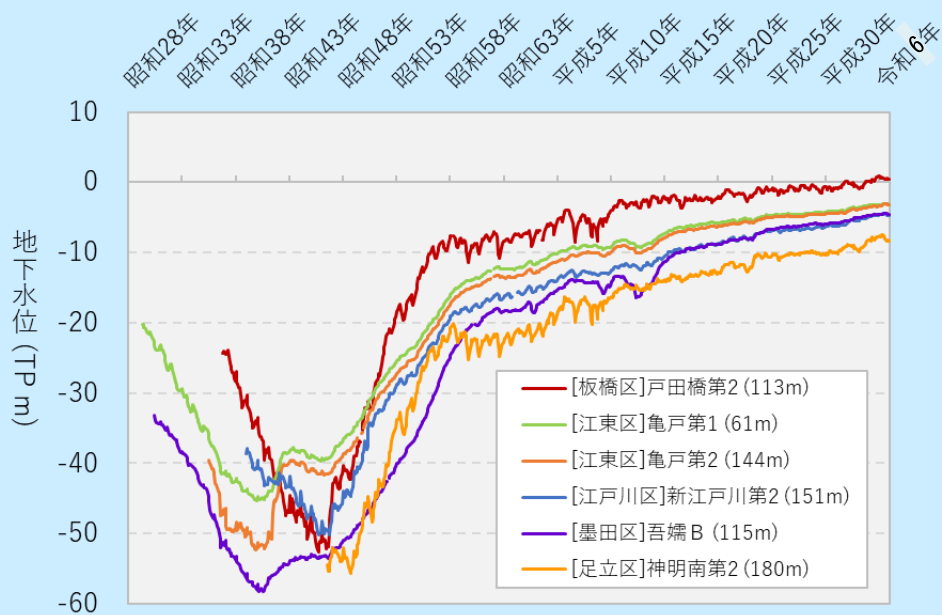
- 上昇傾向が継続
  - ・直近5年間の変動量（12月平均水位）38井全てで上昇：0.07m～+2.62m
  - ・ 亀戸第1の5年間変動量：+0.97m（R1～R5）⇒+0.95m（R2～R6）

## 地盤

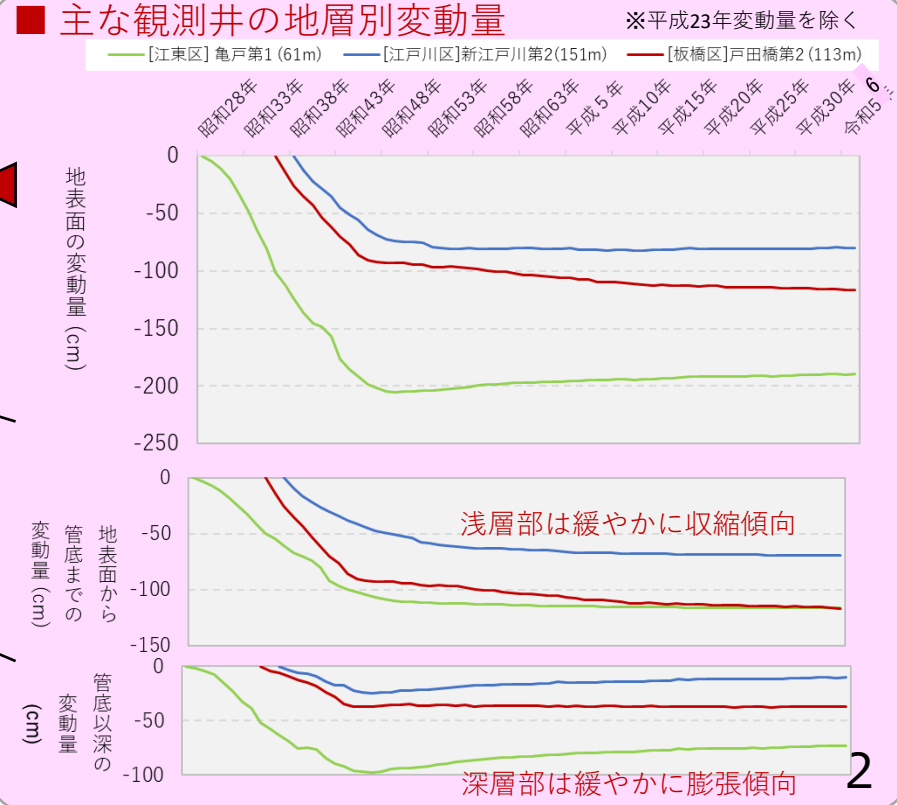
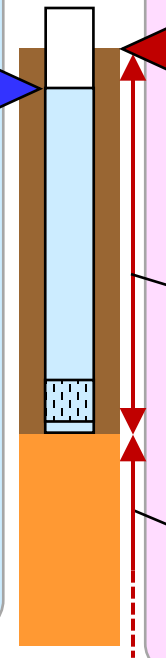
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は収縮傾向を示す観測井が多く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。
- ・直近5年間累積変動量
  - 全体：収縮7本、膨張33本、-1.62cm～+1.19cm
  - 浅層部：収縮34本、膨張5本、-1.93cm～+0.34cm
  - 深層部：収縮2本、膨張37本、-0.10cm～+1.48cm



## ■ 主な観測井の地下水位



## 観測井



# 観測井における地盤と地下水位の地域別現況（2）台地（区部）

## 地下水位

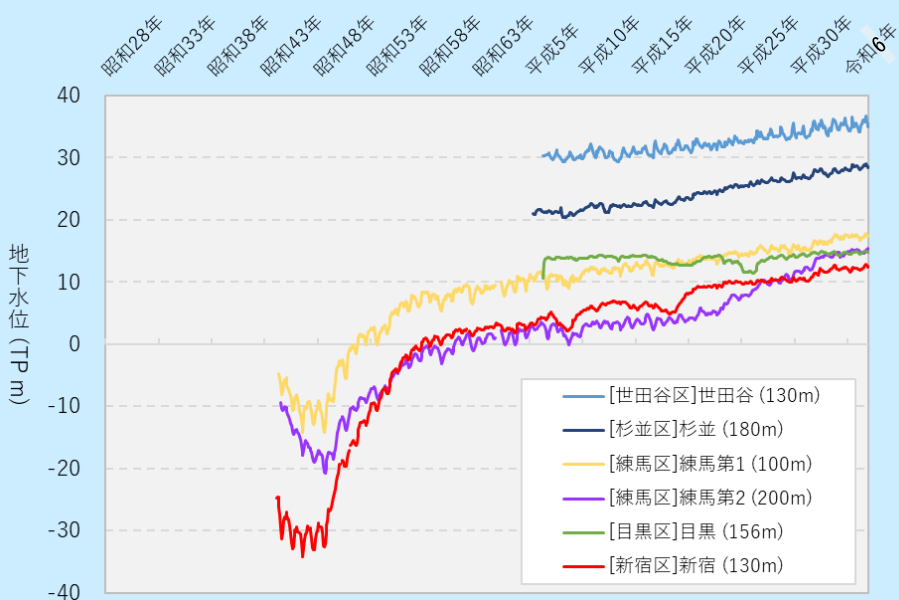
- 上昇傾向が継続
  - ・直近5年間の変動量（12月平均水位）は6井のうち5観測井で上昇：-0.43m～+2.05m
  - 練馬第二：+2.05m

## 地盤

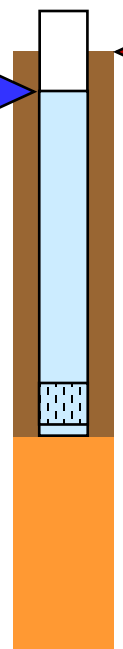
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は一部を除きほぼ変動が無く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。
- ・直近5年間累積変動量
  - 全体：収縮4本、膨張2本、-1.00cm～+0.72cm
  - 浅層部：収縮5本、膨張0本、-0.74cm～±0.00cm
  - 深層部：収縮4本、膨張2本、-0.61cm～+0.80cm



## ■ 主な観測井の地下水位



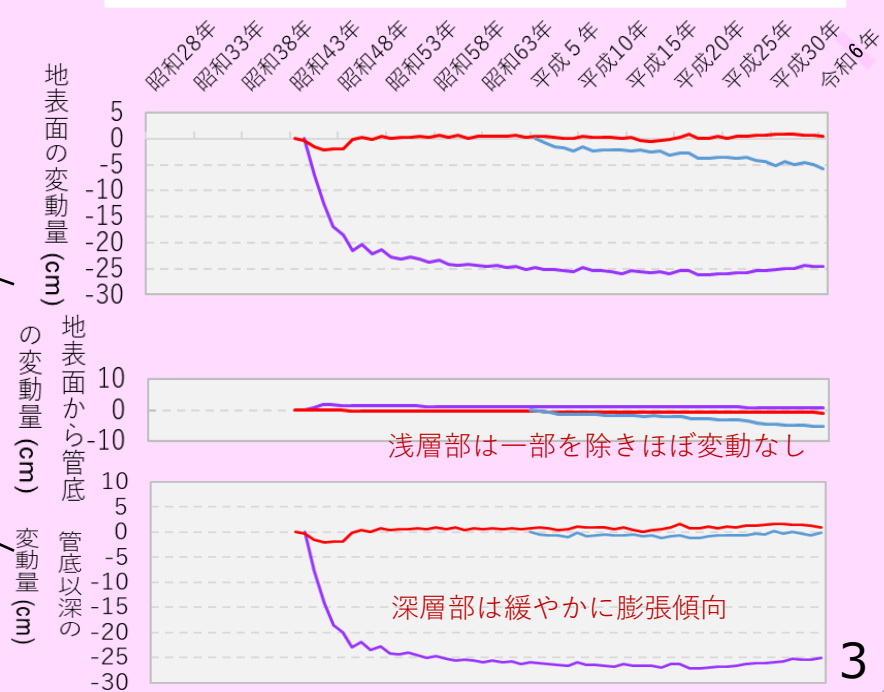
観測井



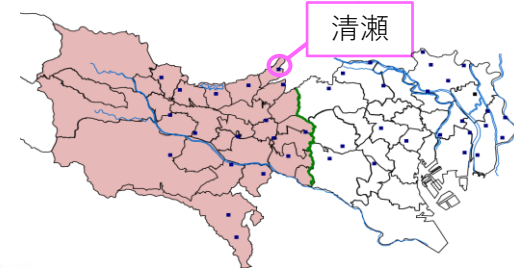
## ■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く

- [練馬区] 練馬第2 (200m)
- [新宿区] 新宿 (130m)
- [世田谷区] 世田谷 (130m)



# 観測井における地盤と地下水位の地域別現況 (3) 台地 (多摩)

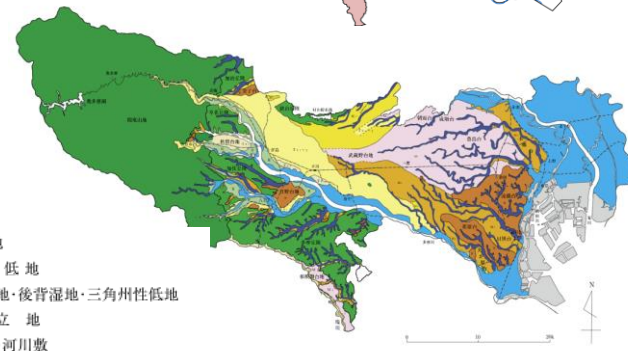


## 地下水位

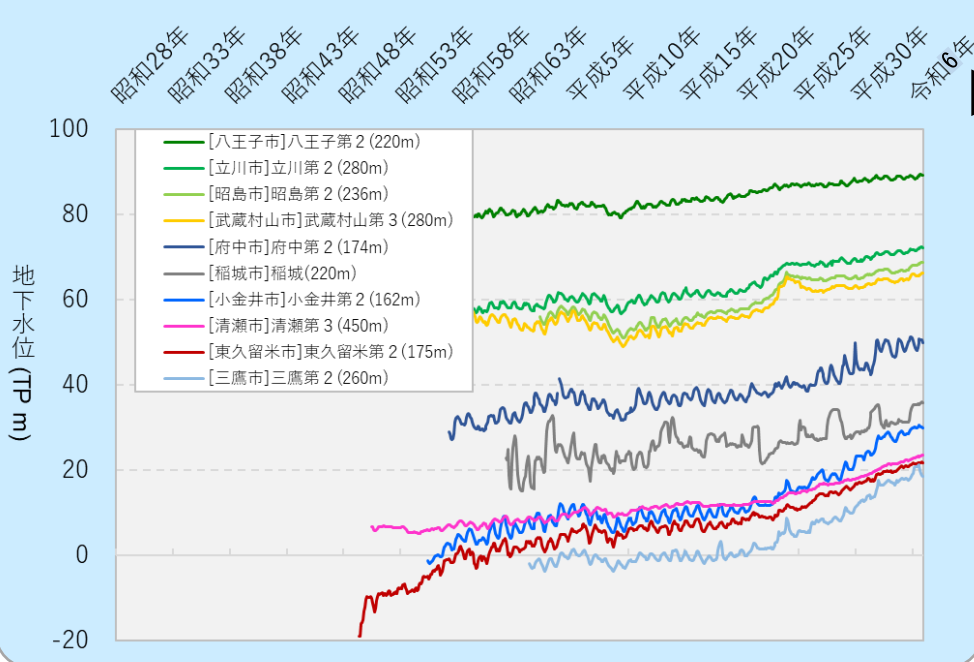
- 上昇傾向が継続。多摩東部の上昇が顕著。
  - ・直近5年間の変動量 (12月平均水位) は6井を除く36井で上昇：-3.68m ~ +9.05m
  - 府中第3：+9.05m

## 地盤

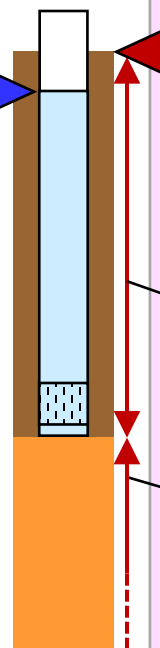
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部 (管底以浅) は収縮も膨張傾向も見られ、深層部 (管底以深) は膨張傾向を示す観測井が多い。長期沈下傾向にあった一部地点の沈下は収束。
- ・直近5年間累積変動量
  - 全体：収縮5本、膨張38本、-1.73cm ~ +1.32cm
  - 浅層部：収縮22本、膨張17本、-1.02cm ~ +0.72cm
  - 深層部：収縮5本、膨張37本、-0.73cm ~ +1.29cm



## ■ 主な観測井の地下水位

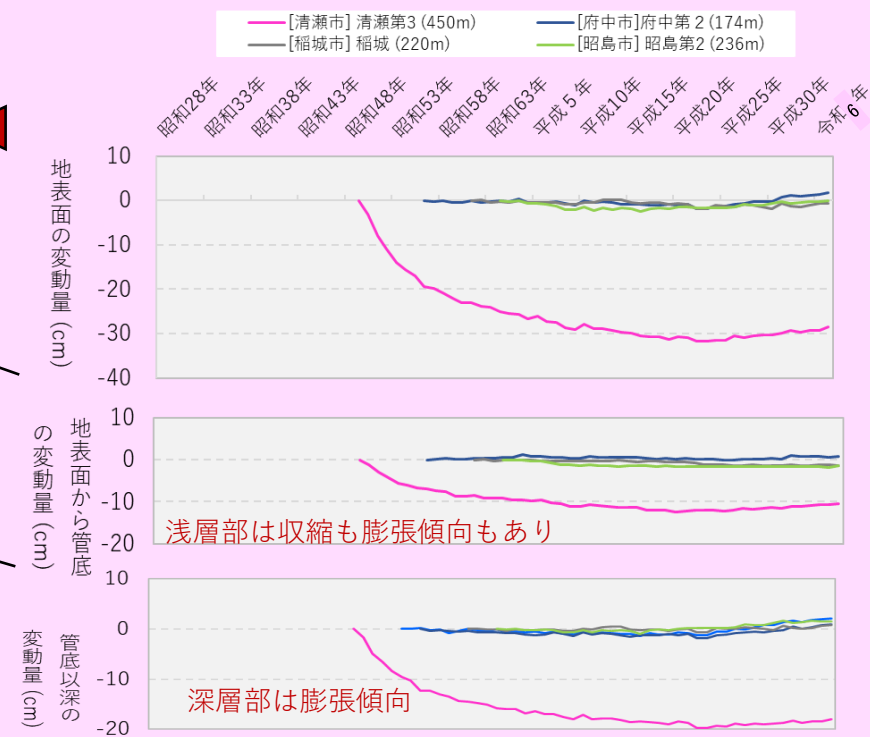


## 観測井

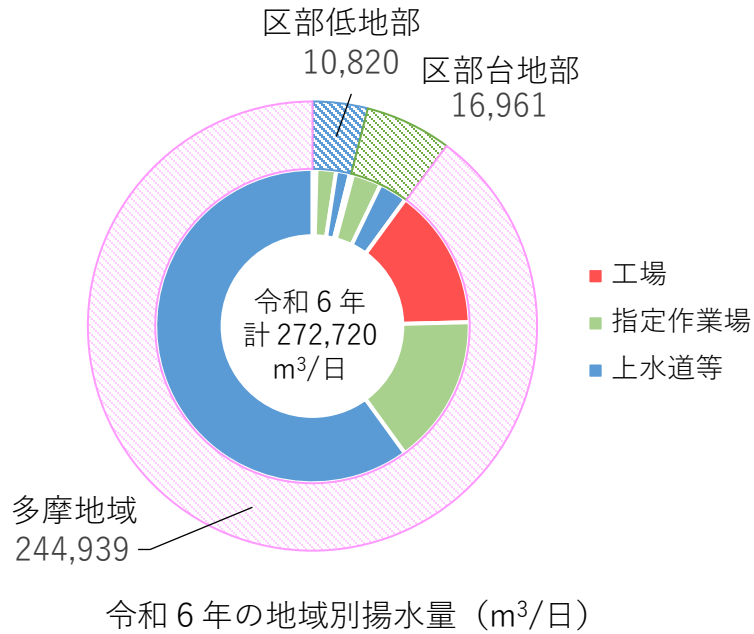


## ■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く



# 都内の地下水揚水の傾向



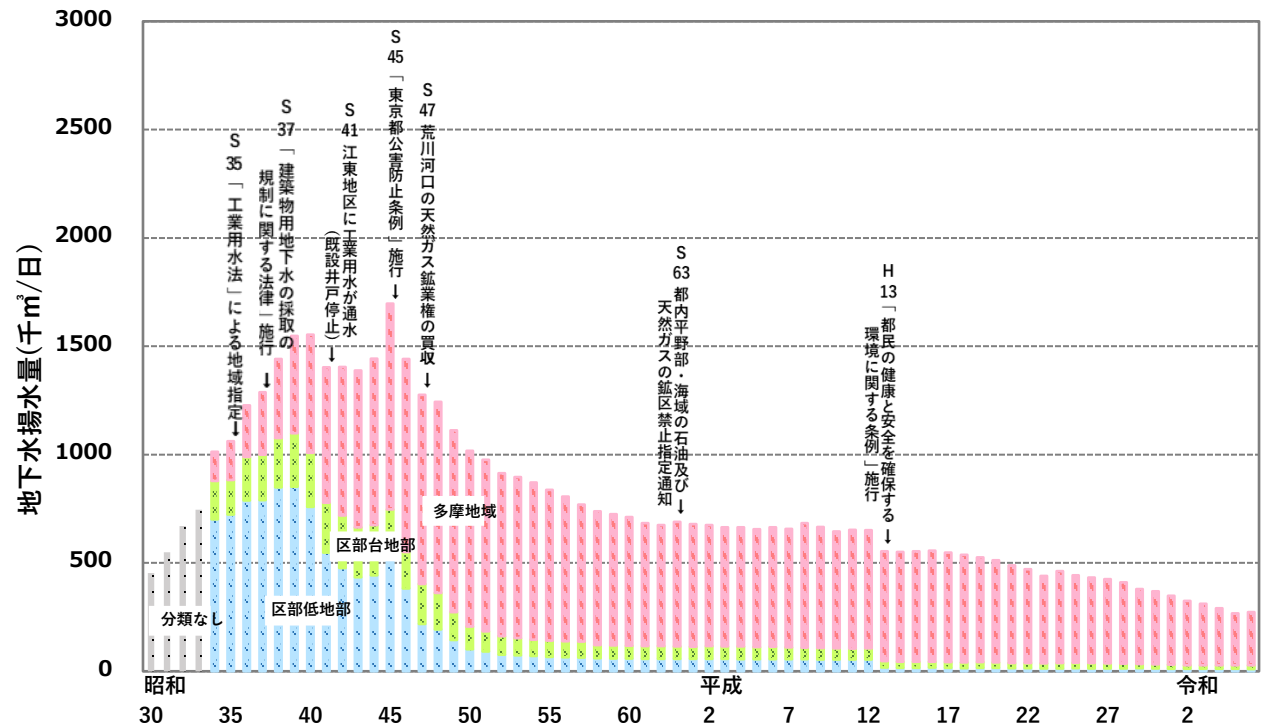
令和6年揚水の地域別割合 (%)

	事業所数	井戸本数	揚水量
区部低地部	31.6	27.6	4.0
区部台地部	19.4	16.5	6.2
多摩地域	49.0	55.9	89.8

## 令和6年の都内地下水揚水の傾向

- 業態別割合 工場：15.3% 指定作業場：20.5% 上水道等：64.2%
- 用途別割合 飲料：59% 製造工程：9.6% 環境用水：9.9% ほか
- 地域別割合
  - ・事業所数 区部：51% 多摩地域：49%
  - ・揚水量 区部：10.2% 多摩地域：89.8%

近年は減少傾向である。  
直近5年間では、多摩東部で上水道用揚水が大きく減少している。



地域別揚水量の推移